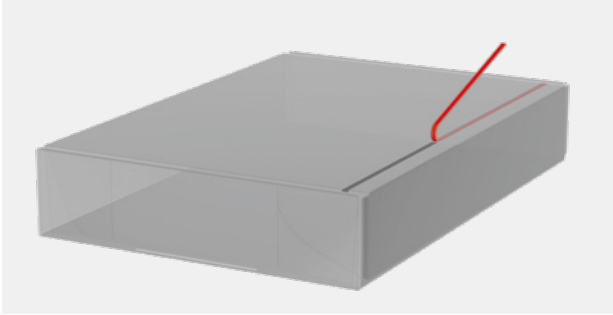


Re-thinking package opening

開封性とリサイクル性から考える、これからの包装



パッケージの課題：環境配慮と開封性の両立

紙や段ボール製パッケージは高い保護性能と優れたリサイクル性を兼ね備えています。一方で、消費者にとって開けやすいことや店舗・物流現場での作業効率を高めることも重要な要素です。

近年、パッケージ全体のモノマテリアル化や脱プラスチック化が進む中、環境配慮と使いやすさを両立させることが求められています。そのため、開封用テープについてもサステナビリティと開封性の双方を考慮した素材選定が重要になっています。

リサイクル性と優れた開梱性を両立する紙基材の開封用テープ
tesa® 51334／tesa® 51344

段ボールや板紙、紙製ケース、メール便封筒などの開封をスムーズかつ確実にサポートする、紙基材の開封用テープです。パッケージのデザインにも自然になじみ、使用後は箱と一緒にそのままリサイクルに出せるため、モノマテリアル化による環境配慮設計に貢献します。

tesaでは環境負荷の低減に貢献する粘着テープソリューションの開発を推進しています。
tesa® 51334 / 51344 は優れた開封性能とサステナビリティの両立を目指して開発された製品です。

サステナビリティに配慮した製品設計

- **FSC®認証紙を採用**
  持続可能な森林管理に由来する紙基材を使用
- **リサイクルを考慮した設計**
  段ボールなどの紙素材と一緒に回収 / リサイクル可能
  （Cepiリサイクル適性試験 Version 2準拠）
- **環境負荷を低減する無溶剤コーティング**
- **100%再生紙製の紙管（コア）を採用**



tesa® 51344

tesa® 51334

FSC
www.fsc.org
FSC® N004383
The mark of responsible forestry

より環境に配慮した製品であることをお伝えするため、tesa独自のサステナビリティ基準を設けています。このマークは、4つの基準のいずれかを満たした製品に付与されます。QRコードをスキャンして製品の詳細をご覧ください。



tesa® 51334 / 51344 は特別な工具を使うことなく、スムーズで確実な開封を実現する開封用テープです。
高強度の紙基材と優れた粘着性能により、再生紙の配合率が高い段ボールや板紙にもしっかりと追従し、安定した接着力を発揮します。また、段ボール製造工程におけるインライン貼付はもちろん、製函・仕上げ工程での汎用貼付機による後貼りにも柔軟に対応します。
欧州を中心に幅広い業界の自動貼付装置で採用されており、高い加工適性と安定した生産性を実現します。

主な特長

包装のサステナビリティ目標達成をサポート
製品設計を通じて包装のサステナビリティ目標の実現をサポートします。

スムーズな加工適性と高い作業性
軽やかで安定した巻き出しを実現。汎用的な自動貼付装置での後貼りにも対応します。

確実で安定した開封性能
引張強度に優れる紙基材と強力な粘着力により、破断を防ぎスムーズでストレスのない開封を可能にします。

包装デザインとの調和
さまざまな包装デザインとの親和性が高く、統一感のある美しい外観に仕上がります。

テクニカルデータ



品番	基材	色	総厚	粘着剤	破断伸び	引張強さ	粘着強さ
tesa® 51334 PV1	FSC®認証紙	○	160 µm	無溶剤合成ゴム系	4 %	100 N/cm	10 N/cm
tesa® 51334 PV0	FSC®認証紙	●	180 µm	無溶剤合成ゴム系	5 %	110 N/cm	10 N/cm
tesa® 51344 PV1	FSC®認証紙	○	200 µm	無溶剤合成ゴム系	13 %	140 N/cm	11 N/cm
tesa® 51344	FSC®認証紙	●	220 µm	無溶剤合成ゴム系	12 %	145 N/cm	11 N/cm

テサテープ株式会社
東京都港区白金1-27-6
白金高輪ステーションビル8F
Tokyo.Sales@tesa.com

免責事項
tesa®（テサ®）製品は自社の規定に基づき定期的に品質の検査をおこなっています。本書に記載されている情報はすべて様々な分野での知見や実経験に基づいて提示している代表値であり、保証値ではございません。便宜上、製品の適格性や用途に関する記述がございますが、いかなる場合も特定の用途に関する保証や明示、黙示等は致しかねます。お客様の環境によって問題が生じる場合がございますため、お客様のご判断のもとご使用いただくようお願い申し上げます。ご質問等がございましたら、弊社（テサテープ株式会社）へお問い合わせください。

10/2026